

平成13年度決算説明資料

．平成13年度決算の概要	2
1．連結決算の概要	2
2．個別決算の概要	3
．平成14年度連結業績予想	4
《参考資料》	
．連結業績の推移	5
1．業績	5
2．セグメント別業績	5
．収益改善計画の進捗状況	6
1．収益改善の推移	6
2．本体および連結人員の推移	6
3．14 - 16年度中期経営計画（石油セグメントの収益改善計画）	6
．連結バランスシートの改善関連	7
1．連結純有利子負債残高の推移	7
2．D E レシオの推移	7
3．設備投資額・減価償却費の推移	8
（1）連結ベースの設備投資額・減価償却費の推移	8
（2）個別ベースの設備投資額・減価償却費の推移	8
（3）13年度連結セグメント別の設備投資額・減価償却費	8
4．CFROA	8
（1）実績推移	8
（2）13年度CFROA実績	8
．その他	9
1．燃料油油種別伸び率・シェア	9
2．当社グループの原油処理量・トッパー稼働率	9
3．13年度個別ベースの設備投資額内訳	9
4．SS店舗数の推移	10
（1）期末SS数	10
（2）増減内訳	10
5．am / pm店舗数の推移	10

平成14年度の連結業績予想につきましては、本年9月設立予定の日鉱金属（株）との共同持株会社「新日鉱ホールディングス（株）」の見通しとして取りまとめた内容を記載致しております。

．平成13年度決算の概要

1．連結決算の概要

(単位：億円)

	13年度	12年度	増減
売上高	20,834	21,976	(×) 1,142
営業利益	277	937	(×) 660
営業外損益	23	172	() 149
経常利益	254	765	(×) 511
特別損益	166	25	(×) 141
法人税等	25	152	() 127
少数株主利益	60	93	() 33
当期純利益	3	495	(×) 492

(1) 対象会社

連結子会社 76社(増加5社,減少9社)
持分法適用会社 11社(増加3社,減少1社)

(2) 経常利益が対前年度(×)511億円悪化した要因

営業利益(×)660億円の内訳
・個別決算 (×)197億円
・連結子会社他 (×)464億円

営業外損益()149億円の内訳
・個別決算 ()53億円
・持分法投資損益 ()90億円
・連結子会社他 ()6億円

【参考：営業利益のセグメント別内訳】

(単位：億円)

	13年度	12年度	増減
石油	137	432	(×) 295
金属	86	204	(×) 118
電子材料	33	204	(×) 237
その他	87	97	(×) 10
計	277	937	(×) 660

在庫(×)273
AMI(×)87
計(×)360

(3) 特別損益の内訳

特別利益	74億円
・固定資産売却益	19億円
・投資有価証券売却益	31億円
・退職給付過去勤務債務処理額	13億円
・その他	11億円
特別損失	240億円
・固定資産除却損	67億円
・投資有価証券売却損	16億円
・投資有価証券評価損	50億円
・構造改革関連費用	84億円
・ゴルフ会員権評価損	14億円
・その他	10億円

2. 個別決算の概要

(単位：億円)

	13年度	12年度	増減
売上高	15,560	16,283	(×) 723
営業利益	135	332	(×) 197
営業外損益	60	113	() 53
金融収支	(52)	104	(() 52)
経常利益	75	219	(×) 144
特別損益	6	132	() 126
法人税等	21	37	() 16
当期純利益	48	50	(×) 2

(1) 売上高が対前年度(×)723億円の減収となった要因

石油製品	(×) 416億円
(内訳)	・販売単価(979円/KL) (×) 362億円
	・数量減他((-)1,152千KL・T) (×) 310億円
	・揮発油税等 () 256億円
その他製品	(×) 307億円(石化, 電子材料, 不動産)

(2) 経常利益が対前年度(×)144億円悪化した要因

在庫評価の影響	(×) 207億円
第2次経営変革計画の推進	() 110億円{ 金利削減20億を含む合計は130億 }
市況低迷によるマージン悪化他	(×) 100億円
昭和シェル石油との提携効果	() 20億円
販売用不動産の売上減	(×) 20億円
営業外損益の改善	() 53億円

(3) 特別損益の内訳

<u>特別利益</u>	<u>122億円</u>
・固定資産売却益	2億円
・関係会社株式売却益	105億円
・退職給付過去勤務債務処理額	13億円
・貸倒引当金戻入額	2億円
<u>特別損失</u>	<u>127億円</u>
・固定資産除却損	39億円
・投資有価証券売却損	15億円
・投資有価証券評価損	35億円
・構造改革関連費用	29億円
・ゴルフ会員権評価損	10億円

平成14年度連結業績予想

(前提条件)

セグメント		14年度	13年度	対前年増減
石油	為替レート(円/\$)	125	125	-
	原油FOB(\$/BBL)	25.2	22.1	(+)3.1
	パラキソンの市況(\$/t)	465	399	(+)66
金属	銅価(¢/lb)	72.7	69.2	(+)3.5
	銅PPC販売量(千t/年)	579	584	(-)5
	金属加工販売量(千t/年)	58	45	(+)13
電材	電解銅箔販売量(t/月)	2,393	1,858	(+)535

(単位:億円)

	14年度	13年度	対前年増減
売上高	21,600	21,834	(×)234
営業利益	480	277	()203
営業外損益	80	23	(×)57
経常利益	400	254	()146
当期純利益	170	3	()167

(セグメント情報)

(単位:億円)

		売上高	営業利益	経常利益	
14年度	石油	16,370	290	190	
	金属	3,350	110	160	
	電子材料	660	10	10	
	その他	1,220	70	60	
	計	21,600	480	400	
13年度	石油	16,221	137	85	
	金属	2,654	86	121	
	電子材料	601	33	44	
	その他	1,358	87	92	
	計	20,834	277	254	
差異	石油	()149	()153	()105	
	金属	()696	()24	()39	
	電子材料	()59	()43	()34	
	その他	(×)138	(×)17	(×)32	(不動産(×)21)
	計	()766	()203	()146	

石油セグメントの経常利益の増減要因

1. 在庫評価の影響	()	220	億円(13年度取出損 135 14年度取出益 +85)
2. 中期経営計画改善額(14年度分)	()	75	億円
3. マージン悪化他	(×)	145	億円
4. 営業外損益の悪化	(×)	45	億円(受取配当金の減、為替差益の減等)
計	()	105	億円

金属セグメントの経常利益の増減要因

1. 金属加工の増販による増益他	()	23	億円
2. 持分法投資利益の増	()	16	億円
計	()	39	億円

・連結業績の推移

1. 業績

(単位：億円)

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度 予想	16年度 目標
売上高	19,661	17,279	19,416	21,976	20,834	21,600	22,500
営業利益	462	116	269	937	277	480	810
経常利益	267	100	111	765	254	400	780
当期利益	190	177	423	495	3	170	410

2. セグメント別業績

(単位：億円)

		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度 予想	16年度 目標
石 油	売上高	14,804	12,609	14,770	16,650	16,221	16,370	16,700
	営業利益	80	220	84	432	137	290	440
	経常利益					85	190	360
金 属	売上高	2,623	2,293	2,449	2,653	2,654	3,350	3,450
	営業利益	222	177	167	204	86	110	170
	経常利益					121	160	250
電子材料	売上高	1,214	1,227	1,021	1,316	601	660	1,050
	営業利益	92	74	97	204	33	10	120
	経常利益					44	10	100
そ の 他	売上高	1,019	1,151	1,176	1,357	1,358	1,220	1,300
	営業利益	68	85	89	97	87	70	80
	経常利益					92	60	70
計	売上高	19,661	17,279	19,416	21,976	20,834	21,600	22,500
	営業利益	462	116	269	937	277	480	810
	経常利益					254	400	780

(電子材料の内訳)

売上高	合計			1,316	601	660	1,050
	銅箔			466	281	325	505
	半導体			405	-	-	-
	ターゲット			199	160	190	290
	化半材他			246	160	145	255
営業利益	合計			204	33	10	120
	銅箔			104	17	15	80
	半導体			87	-	-	-
	ターゲット			27	17	30	60
	化半材他			14	33	35	20
	(内開発費等共通コスト)			(40)	(37)	(40)	(50)

．収益改善計画の進捗状況

1．収益改善の推移

(単位：億円)

	構造改革 7～9年度	第1次経営変革			第2次経営変革			合計
		10年度	11年度	計	12年度	13年度	計	
労務費	80	20	50	70	20	10	30	180
物流費	70	30	50	80	45	10	55	205
修繕費	0	10	10	20	10	15	25	45
償却費	-	-	-	-	20	40	60	60
省エネ	0	30	20	50	0	0	0	50
金利	-	-	-	-	0	20	20	20
諸経費等	260	50	30	80	55	35	90	430
Jiナビ-個別計	410	140	160	300	150	130	280	990
関係会社	-	-	-	-	150	180	30	30
グループ合計	410	140	160	300	300	50	250	960

関係会社の収益改善計画の主な内容は収益拡大であったが、事業環境の悪化により基準年度の11年度より減益となった。

2．本体および連結人員の推移

	本体人員			連結人員(セグメント別)				
	計画	実績	出向者(外数)	石油	金属	電子材料	その他	計
H 7. 10. 1	4,100	4,100	1,200					
H 8. 4. 1		3,950	1,200					
H 9. 4. 1		3,500	1,300					
H10. 4. 1	3,300	3,200	1,300					
H11. 4. 1	2,650	2,650	1,350	4,200	2,300	5,200	2,900	14,600
H12. 4. 1	2,100	1,950	1,850	4,700	2,200	3,700	2,600	13,200
H13. 4. 1		1,600	1,800	4,300	2,600	2,200	2,600	11,700
H14. 4. 1	1,500	1,500	2,400	4,100	2,500	1,800	2,500	10,900

3．14 - 16年度中期経営計画(石油セグメントの収益改善計画)

(単位：億円)

	14年度	16年度目標
精製	40	110
修繕費	15	20
減価償却費	15	40
その他	10	50
販売	15	85
販売構成改善(小売マージン増含み)	35	85
その他	20	-
その他	20	80
合計	75	275

・連結バランスシートの改善関連

1. 連結純有利子負債残高の推移

(単位：億円)

	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	対13/3末増減
ジャパンエナジー	5,600	6,037	6,059	4,540	4,111	429
鹿島石油	-	-	1,753	1,523	1,157	366
日鉱金属	1,647	1,485	1,428	1,340	1,341	1
その他	3,530	3,072	3,145	2,829	2,319	510
合計(有利子負債)	10,777	10,594	12,385	10,232	8,928	1,304
手元流動性	1,706	2,011	2,611	1,726	1,123	603
連結純有利子負債	9,071	8,583	9,774	8,506	7,805	701

鹿島石油連結の影響	-	-	1,437	1,335	1,005	330
-----------	---	---	-------	-------	-------	-----

実質連結純有利子負債	9,071	8,583	8,337	7,171	6,800	371
対10/3末期増減		488	734	1,900	2,271	

《連結純有利子負債の削減内訳》

(単位：億円)

	10年度実績	11年度実績	12年度実績	13年度実績	合計
C A S H I N (A)	1,189	1,001	1,576	977	4,743
当期純損益他	413	133	622	526	602
減価償却費	589	549	511	436	2,085
資産売却	1,013	585	443	15	2,056
・本社ビル	700				700
・事業譲渡	138	157	430	48	773
・その他	175	428	13	(注) 33	583
C A S H O U T (B)	701	755	410	606	2,472
設備投資支出	646	428	410	437	1,921
投融資支出		294		136	430
配当金支払	55	33		33	121
差引(A - B)	488	246	1,166	371	2,271

(注) 新規連結に伴う純有利子負債の増加分吸収(142)を含む。

2. DEレシオの推移

(単位：億円)

	10年3月末	11年3月末	12年3月末	13年3月末	14年3月末
有利子負債(a)	10,777	10,594	12,385	10,232	8,928
株主資本(b)	1,033	1,153	1,154	1,812	1,815
DEレシオ(a/b)	10.43	9.19	10.73	5.65	4.92

3. 設備投資額・減価償却費の推移

(1) 連結ベースの設備投資額・減価償却費の推移 (単位: 億円)

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度予想
設備投資額	733	646	428	422	444	390
			(内鹿島	12	7)
減価償却費	530	589	549	597	513	510
			(内鹿島	86	77)
(差引き)	203	57	121	175	69	120
			(内鹿島	74	70)

(2) 個別ベースの設備投資額・減価償却費の推移 (単位: 億円)

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
設備投資額	363	264	138	77	154
減価償却費	251	283	251	225	181
(差引き)	112	19	113	148	27

(3) 13年度連結セグメント別の設備投資額・減価償却費

セグメント別設備投資内訳

	13年度	12年度	増減	(単位: 億円)
石油	173	94	(+) 79	14年度予想
金属	72	89	(-) 17	
電子材料	114	141	(-) 27	
その他	85	98	(-) 13	
計	444	422	(+) 22	

セグメント別減価償却費内訳

	13年度	12年度	増減	(単位: 億円)
石油	266	321	(-) 55	14年度予想
金属	94	90	(+) 4	
電子材料	71	108	(-) 37	
その他	82	78	(+) 4	
計	513	597	(-) 84	

4. CFROA

(1) 実績推移

	11年度	12年度	13年度
連結CFROA	3.0%	8.1%	6.8%

(目標値: 14年度で、連結CFROA 6%以上)

(2) 13年度CFROA実績 (単位: 億円)

分子	営業キャッシュ・フロー	1,299
	利息の支払い	(+) 200
	支払リース料	(+) 54
	事業維持投資	(-) 239
	未払揮税等補正(期末休日)	(-) 279
	フリーキャッシュ・フロー	1,035
分母	期末出まま総資産	16,959
	リース資産	(+) 189
	仕入債務	(-) 2,876
	未払揮税等	(+) 279
	期末補正後総資産	14,551
	期首補正後総資産	15,794
	平均補正後総資産	15,173
	CFROA	6.8%

・その他

1. 燃料油油種別伸び率・シェア

(単位：千KL)

	一般販売数量(当社)		13年度伸び率		シェア推移			14年度伸び率想定	
	13年度	12年度	当社	全国	13年度	12年度	11年度	当社	全国
揮発油	6,194	5,984	103.5%	101.5%	10.6%	10.4%	10.6%	101.9%	100.8%
ナフサ	3,375	4,301	78.5%	93.7%	10.2%	12.1%	12.1%	73.7%	97.0%
ジェット	671	642	104.4%	101.4%	12.9%	12.6%	12.9%	99.0%	100.7%
灯油	2,832	2,976	95.1%	97.2%	10.1%	10.3%	10.1%	100.6%	100.8%
軽油	4,671	4,711	99.1%	98.8%	11.7%	11.6%	11.7%	97.2%	97.7%
A重油	2,360	2,373	99.5%	99.7%	8.4%	8.4%	9.3%	100.0%	97.9%
B重油	0	0	0.0%	85.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	88.2%
C重油	1,571	2,097	74.9%	85.2%	6.3%	7.2%	7.7%	88.8%	88.2%
燃料油	21,672	23,085	93.9%	96.9%	9.9%	10.2%	10.5%	95.1%	97.7%
自揮中間	16,056	16,044	100.1%	99.7%	10.4%	10.3%	10.6%	100.0%	99.5%

2. 当社グループの原油処理量・トッパー稼働率

	原油処理量(万KL)			トッパー稼働率	
	対12年度	13年度	12年度	13年度	12年度
4月～6月	100%	609	611	63%	63%
7月～9月	96%	667	698	80%	71%
上期小計	97%	1,276	1,309	71%	67%
10月～12月	92%	692	749	83%	76%
1月～3月	92%	696	757	85%	79%
下期小計	92%	1,388	1,506	84%	77%
年度計	95%	2,664	2,815	77%	72%

3. 13年度個別ベースの設備投資額内訳

(単位：億円)

		13年度	12年度	増減
販売部門	給油所	88	37	51
	SS保証金	3	4	1
	SS投資計	91	41	50
	油槽所他	8	7	1
	(内LPG設備)	(1)	(3)	(2)
部門計		99	48	51
精製部門		41	18	23
その他		14	11	3
全社計		154	77	77

4. SS店舗数の推移

(1) 年度末SS数

	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
社有	1,489	1,406	1,377	1,328	1,284
自己	4,590	3,811	3,575	3,318	3,192
期末SS数	6,079	5,217	4,952	4,646	4,476

(2) 増減内訳

		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
増 (新設等)	社有	18	29	16	9	0
	自己	54	37	26	19	20
	計	72	66	42	28	20
減 (廃止等)	社有	75	112	45	48	55
	自己	150	816	262	286	135
	計	225	928	307	334	190
計		-153	-862	-265	-306	-170

5. am/pm店舗数の推移

	店舗数	対前期増減
10/3末	1,003	180
11/3末	1,087	84
12/3末	1,192	105
13/3末	1,274	82
14/3末	1,337	63

以上